

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

<VOL. 527 2017.02 >

BULLETIN

2016年7月～2017年6月



国際会長
アジア会長
東日本区理事
関東東部部長
クラブ会長

Joan Wilson「私たちの未来は、今日から始まる」(カナダ)
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)
利根川恵子「明日に向かって、今日動こう」(川越)
片山 啓「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」(茨城)
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会 長 浅見 隆夫
副 会 長 西澤 紘一
書 記 目黒 卓
会 計 平林 正子
監 事 柿沼 敬喜
担当主事 花井 雅男

2月タイム オブ ファースト

飢えている人に心を配り、苦しめられている人の願いを満たすなら、
あなたの光は、闇の中に輝き出(い)で、あなたを包む闇は、真昼の
ようになる。

(イザヤ書 58:10)

2017年02月 第一例会

日時:2017年02月15日(水) 18:30～20:00
場所:千代田区和泉橋区民館 2階
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931
受付:布上君/司会:青木君
開会点鐘 浅見会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 古平君
ゲスト・ビジター紹介 浅見会長
(TOF例会で食事はありません)

ゲストスピーチ 紹介 西澤君
白井芳樹氏(全日本土地地区画整理士会会長)
演題:「東京のインフラ(川、町、橋)
～昭和初年の土木事業」

ニコニコ献金
Happy Birthday<2月メン2名 ネット2名>
YMCA 情報 花井君
ニコニコ発表 浅見君
閉会点鐘 浅見会長

～T O F 強調月間～



TOF(Time of Fast)の強調月間です。
「断食の時」とも呼ばれ、世界の飢餓に
苦しむ人々の苦しみを覚えるとともに生
活の向上を支援するため、例会の食事
を抜きにして、その分の金額を国際に
献金し、その年度に定めた途上国での開発事業に捧げる
活動です。

現在はTOF-GPF(グローバル・プロジェクト基金)とし
て毎年、応募のあった事業の中から、評価・選定委員会
が審議し、国際議会で承認された事業に補助金を給付し
ています。1973年の開始以来、ワイズメンズクラブ国際協
会は、630万米ドルの支援を様々な事業にしてきました。

現在は、進行中の17事業に今年度選ばれた8事業を
加え、合計16カ国における25事業を支援しています。
居ながらにして世界の苦しむ人々を支援できる、ワイズな
らではの国際協力です。この事業の趣旨を理解し、今年
度も多くのTOF献金が寄せられることを期待いたします。

(理事通信2月号より抜粋 布上)

*東西両区交流会・東山荘の「速報」を掲載しました。
*今月のゲストのお話は大変良い勉強になりますね。

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 14/16 88%

出席:1月新年例会 (グリーンメン 12名、ネット 2名、北 10名、ビジター・ゲスト 7名)計 31名

【ニコニコ】 1月新年合同例会 36,300円 <北クラブとの合意で「ひろ君を救う会」に全額寄贈>

＜2017年01月 新年合同例会報告＞

日時:2017年01月18日(水)18:30~20:30
場所:千代田区和泉橋区民館 3階和室
出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・柿沼・古平・佐野・高谷・西澤・西本・布上・花井・平林
(メネット)西本(晃)・布上(信) <以下敬称略>

(北クラブ)磯部(幸)・磯部(成)・神谷・金・辰馬
村杉(一)・村杉(克)・山根・小松・初村(清泉Y)
(ゲスト)古今亭寿輔・林繁一・近藤清史
(ビジター)越智京子・小原史奈子(たんぽぽクラブ)
太田勝人(世田谷クラブ)・関喜一郎(石巻クラブ)



新しい年を迎え例年通りの北クラブとの合同例会を企画しましたが、今年は真打:古今亭寿輔師匠をお迎えして楽しい落語会となりました。寿輔師匠のお話は大ベテランらしく風格があり、「代書屋」の一席を伺った。本題に入る前の「お客いびり」はいつもよりはややソフトのようでしたが、十分、楽しませていただきました。

本題に入る前の「お客いびり」はいつもよりはややソフトのようでしたが、十分、楽しませていただきました。



落語の後にセレモニーをプログラム通りに行いました。

乾杯をしていただいた、1月生まれの太田ワイズと共にめでたく Happy....。そして東山荘・東西

日本区交流会参加へのアピール。越智ワイズ、小原ワイズからは Liby コンサートのPR。石巻クラブからおいで願った関ワイズのご挨拶...和気藹々の内に合同新年会は終了。その後、寿輔師匠は紹介者の近藤氏と共に神田の「万世」での懇親二次会に来ていただいた。新年会場でのアルコ



ールとは別に改めて大いに飲み、語りました。(センターの帽子の方)

(布上 記)

＜2017年01月第二例会報告＞

日時:2017年01月11日(水)18:30~20:00
場所:千代田区和泉橋区民館 4階
出席:青木・浅見(隆)・稲垣・柿沼・布上・平林(6名)
1、配布資料 理事通信

2、報告・連絡事項

- ・1/7 在京ワイズ会長会(浅見会長・花井主事) 報告
新年会 山手コミュニティーセンター 浅見K・浅見T・柿沼・佐野・布上(S・N)・平林・花井
- ・2/4-5 東西日本区交流会 東山荘
青木・浅見T・柿沼・布上・平林 参加予定
DBC交流 京都パレスクラブ・熱海クラブとの対応
- ・合同新年例会 参加者確認 ビジター確認ほか
古今亭寿輔師匠への対応、会場準備など詰める
北クラブとの会費分担ほか
- ・東日本区後期半年報 区費の件
- ・次々期国際会長・会計 国際議員選挙 会長一任
- ・次々期理事、監事推薦依頼の件
- ・茨城クラブより「ひろくんに心臓移植を」の献金依頼
北クラブとの合同新年例会のニコニコを献金合意
茨城「熟成紅はるか(芋)」PR の件

3、審議・協議事項

- ・2月ゲストスピーカー候補 西澤マン紹介「白井氏」
- ・3月 " 柿沼マン検討中
- ・4月、5月 募集中

(布上 記)

2月例会ゲスト・スピーカー プロフィール

白井芳樹氏 演題:「東京のインフラ(川、町、橋) ~昭和初年の土木事業」

旧建設省で都市計画、土木行政に31年間従事。在職中に富山県に2度、通算8年間出向したことがあり、退職後、富山県の近代土木史を研究し、工学博士に。現在、一般社団法人全日本土地区画整理士会会長、土木学会土木史研究委員会委員 富山近代史研究会理事等を務めるかたわら、一般の人に土木の仕事や土木技術者を分かりやすく語る試みを続けている。著書『とやま土木物語』、『都市 富山の礎を築く』ほか。

Happy Birthday

02月 柿沼敬喜(メン) 西本東司(メン)
高谷恵子(メネット) 西本晃子(メネット)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
(2016-17年度 会計:平林正子)

みずほ銀行・戸越支店(普通 2208674)

(口座名)東京グリーンワイズメンズクラブ

第2回東西日本区交流会・東山荘



2017年2月4日(土)～5日(日)第2回東西日本区交流会が御殿場・東山荘で開催。合計370名のワイズメン、メネットの参加でした。第1回は2005年、日本区が東・西日本区に分かれて20年の今年、12年振りです。前回は、開催前夜から大雪で皆さんご苦労されましたが今年は問題なしの気候。まだ未完成ではありますが久しぶりの景色を見て感激しています。



2月4日(土)

第1部 利根川理事による開会点鐘、田中実行委員長による開会の挨拶、そして来賓挨拶(島田同盟総主事、神崎同盟次期総主事、利根川・岩本両区理事)のあと、中道基夫ワイズ(神戸)による講演「YMCAのブランディングとワイズ」を拝聴、堀口東山荘所長による「東山荘の歴史」等々と続き開会式を終えました。外で全員の記念撮影、一斉に撮ると圧巻です。

第2部 交流プログラム、LT/LD、IBC/DBC、EMC、音楽、ダンス、ウォーキング、ヤング、メネット等々、各交流プログラムに自由選択参加。グリーンはメネットのバザーで活躍。



メネットアワーは相磯東日本区メネット委員長の司会、亀浦西日本区メネット事業主任の挨拶で始まり、出席された東西メネットの方々の自己紹介、皆様、少人数となっていることの現状報告など。約6万円弱のバザーでの収益金は東山荘の建設費用に献金されることになりました。

第3部 夕食懇談会 体育館・立食ビュッフェ・飲み放題。たっぷりいただいて中締めのもと、「フェロウシップアワー」は失礼してDBC 交流の爲別のロジックハウス会場に向かいました。京都パレスクラブ(20名)と熱海クラブ(18名)との懇親会です。解散は深夜になりましたが大満足です。2月5日(日) 早朝ウォーキングはパスして朝食へ。

日曜礼拝に続いて山田公平ワイズ(宇都宮)による講演「ワイズとYMCA、今後への期待」を拝聴、清水元理事から東日本大震災、熊本の亀浦ワイズから熊本震災の現状を伺った。日本人のマナー、感動する場面もありましたね。次に「DBC 締結式：千葉クラブー大阪高槻クラブ」、「IBC：大阪泉北クラブー台北 A-LIST クラブ」を全員で祝福しました。

最後に、田中実行委員長より閉会挨拶、YMCA の歌を全員で斉唱し、岩本西日本区理事による閉会点鐘にて全ての行事を終了しました。

グリーンクラブ参加：青木・柿沼・布上(S・N)・平林(5名)

＜田中実行委員長からの報告抜粋＞

参加者：東日本区 188 名、西日本区 171 名、台湾区 台北 A-LIST クラブ 11 名参加(交流会にて大阪泉北クラブとIBC 締結) 合計 370 名

日曜礼拝献金：177,750 円 (東日本大震災、熊本地震復興支援金として日本 YMCA 同盟へ)

バザー売り上げ：55,120 円、集合写真売り上げ 35,502 円 合計 90,622 円(交流会収支の余剰金と併せて「東山荘 100 年募金」へ)。(布上 記)

第75回記念 神田川船の会 開催

催行日：2017年5月13日(土) 午前/午後出航

集合：浅草橋 船宿・三浦屋 前の広場 4艘出船

航路：神田川～日本橋川～隅田川～東京港・晴海運河

今回は第75回特別記念新設コースで行います。皆様のご乗船をお待ち申し上げます。4/20 申し込み締め切りです。お問い合わせは東京 YMCA ウェルネス又はグリーンクラブメンバーまでご連絡ください。

第35回 「沈黙」 遠藤周作（新潮文庫 1981年）



1981年、遠藤周作の力作「沈黙」が発表されたときは東京に居た。文庫本であったので一気に読み終え、キリスト者が踏み絵を前にした時の厳しい葛藤に心が揺さぶられた記憶がある。それから35年が経過してスコセッシン監督になるハリウッド映画「沈黙(Silence)」が製作された。2017年1月21日を期して

全国で上映されると聞き、もう一度読み返してみた。

時代は江戸初期の九州。島原の乱が平定されてキリシタン禁制の布告が徹底し始めた頃の物語である。セバスチャン・ロドリゴ(ポルトガルの宣教師)は、尊敬する恩師フェレイラが棄教したとのうわさを聞き同僚ガルペと共にマカオに居たキチジローを案内役に五島列島に密入国する。そして隠れキリシタンと出会うがすぐにキリシタンの処刑の場面に出くわし、おもわず信者の下に駆け寄ったガルペは非業の死を遂げる。ロドリゴはそこを逃れて逃亡生活に入るが、しばらくしてキチジローの密告により長崎奉行にロドリゴは捕らえられる。元信者であるキチジローは、大変なことをしたと泣きながらロドリゴを追う。ユダの心境であったらう。そこでフェレイラと再会する。皮肉にも長崎奉行も元キリスト者であった。フェレイラはロドリゴに棄教を勧める。フェレイラは「自分自身が棄教しなければ、すでに棄教した信者までもが拷問を受けることになると知り棄教した」と告白する。ロドリゴは神に祈るが、神は沈黙したままであった。

このときの長崎奉行井上筑後の守は狡猾で殉教者を出さずにキリスト者を根絶やしにする方法(宣教師を棄教させる事で信者の見せしめにする)を編み出していた。ロドリゴは、棄教を拒み続け牢に繋がれることとなる。ある夜、フェレイラがロドリゴに棄教の説得にやってきた。その時遠くで大きな躰が聞こえてきた。ロドリゴはフェレイラに静かにさせてくれと頼む。実は、その躰は棄教を迫られた元信者が牢番の過酷な拷問を耐えている叫び声であると教えられる。ショックを受けたロドリゴは、元信者を救うためならと踏み絵を踏む決意をする。翌朝奉行所で踏み絵を前にしたロドリゴに「踏むが良い。お前のその足の痛みを私が一番知っている」とキリストが語りかけた。ロドリゴは状況を変えてくれる神ではなく、一緒に苦しんでくれるのが神であることを知った。その後、打ちひしがれたロドリゴの元にキチジローが許しを請いに現れる。キチジローを通してキリストは再び語りかける：

「私は沈黙していたのではない。お前達と一緒に苦しんでいたのだ」と。

許されて寺に入ったロドリゴは、転びのパウロと軽蔑されたが、「自分が棄教していないことは神は知っている」との信念で最後に残ったキリスト教祭司としての自覚を持ちつつ生き続けたという。(西澤 紘一記)

▼ クリスマス募金として、2月1日現在、148人の個人のほか、企業等10社、教会等8団体、合計166の個人・法より合計2,305,497円が寄せられている。この募金は、東日本大震災復興支援活動、熊本地震復興支援活動、国際協力活動、フレンドシップファンドのために用いさせていただく。

▼ 1月20日、学士会館にて新春特別午餐会が開催され、作家の阿刀田高氏に卓話をいただいた。『日本語と言葉遊びの楽しみ』と題し、日本語独自の発達の歴史や、その豊かさ、楽しさが分かち合われた。約50名の参加があった。

▼ 1月25～26日、「第12回東日本地区YMCAスタッフ研修会」が横浜YMCA主管により、国際青少年センター東山荘を会場に開催され、東日本地区の8つのYMCAより36名が集った。金迅野牧師(在日本大韓基督教会横須賀教会)を講師に迎え、『YMCAの働きとキリスト教(平和とは、共生とは)』と題してお話いただいた他、他者理解と自己理解をテーマにグループワークを行った。東京YMCAからは廣田総主事、小畑貴裕氏(本部事務局)、宮田諭氏、沖津桃氏(山手コミュニティー)、中元美佳氏(西東京コミュニティー)が参加し、YMCAで働く意味や、YMCAスタッフとしてのキリスト教理解などについて学びを深め、交流の時をもった。

▼ 今年で11回目となる子育て講演会が、しのめYMC Aこども園で1月28日に行われた。元サッカー日本代表監督の岡田武史氏をお迎えし、『岡田武史が子育ての明日を語る』と題してお話いただいた。177名の参加があり、幼少期に大切な心と体の成長を「運動遊びとスポーツ」をテーマに掘り下げ、子どもの可能性や子育ての未来の形を見つめ直す機会となった。

▼ 各センターにて春季キャンプ・スクールの申込が2月9日からスタートする。

▼ 今後の主な行事日程

- ・liby チャリティーコンサート 2月18日(阿佐ヶ谷教会)
- ・陽春の集い 2月25日(東陽町センター)
- ・発達障がい児・者支援講演会 2月26日(梅永雄二氏)
- ・総主事就退任式 3月19日(山手センター)
- ・チャリティーゴルフ大会 4月13日

(レイクウッド総成カントリークラブ)

(担当主事 花井 記)